



松戸市教育委員会

教育長 伊藤 純一

皆様、こんにちは。教育長の伊藤純一です。

鮮やかな緑が、爽やかな空気をたくさん吸い込んで、目映いばかりの美しさを勝ち誇ったように見せてくれています。自然のそれぞれの命の強さには畏れ入るしかありません。その中で営々と歴史を創ってきた先達から、深い文化を受け継ぎ、発展させることが私たちの責務でありました。

その文化の中で IT の分野に限って言えば、ムーアの法則で言われるように進展のスピードが加速し、AI が新しい可能性を示し、自動運転車の法的責任が問われる時代となりつつあります。果たして、その進む方向に間違いは無いのかと危惧を抱いている自分がいます。そして、その危惧は子どもたちの未来に大きな陰を落としているような気がしてなりません。

例えば、ネット社会には光と影があります。IT は確かに便利なグッズで、検索サイトから様々な知識が手に入りますが、言い方を変えると誰にでも同じような知識しか入らないということです。ネットの知は広いようで、実は限られていること、そしてまた一つの刺激的な情報が瞬く間に世の課題設定となってしまいうさも持っているということです。

IT 文化の進展は驚くべきものがあります。高度な情報化社会が構築されています。しかし、そのことによって失われていくものも少なくありません。私たちは教育の現場でその失われていくものを補っていく必要があると感じています。

失われていくものの一つに「ことば」があると感じます。IT 文化の中で幼児期を過ごす子どもたちには、一つ一つの「ことば」の意味や意義を吟味しながら育っていく時間のゆとりはなくなっているのが現状です。大人が大人の論理でどんどん便利な社会を創り上げ、「ことば」を多用するコミュニケーションの煩雑さから逃れることができますが、乳幼児は「ことば」を使うことを学ばなければならないこの時期に「ことば」を使わなくとも良い文化の中で育っているのです。ですから、乳幼児期の教育の重要性を改めて認識していただくため、松戸市独自の幼児教育プラン「まつどっ子 未来のために今」を発信する必要性がありました。医師会の皆様のご協力により母子手帳と同時に配布することができるようになりました。松戸市の未来を創る子どもたちが健やかに成長できるようにこの発信と啓発を続けていきたいと考えています。市民の皆様にとってわかりやすい教育行政への努力を続けたいと考えます。

伊藤 純一